電波時計について

電波時計とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

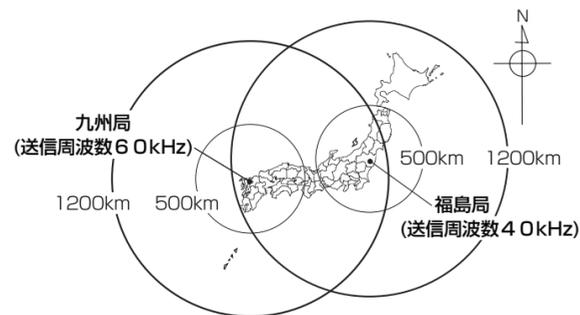
日本標準時をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2ヵ所あります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

受信可能な範囲

送信所からおよそ約1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼／夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

○この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

○日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信して、日本の時刻を表示したり、誤った時刻を表示することがありますので、海外での使用はお勧めできません。

○送信所の定期点検や落雷などにより、標準電波の送信が止まることがあります。

ご使用場所について

電波の受信しやすいところでご使用ください。

この時計は標準電波を受信することにより、時刻を修正しますので、電波の受信しやすい部屋の窓際などでお使いください。

電波を受信しにくい環境について

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

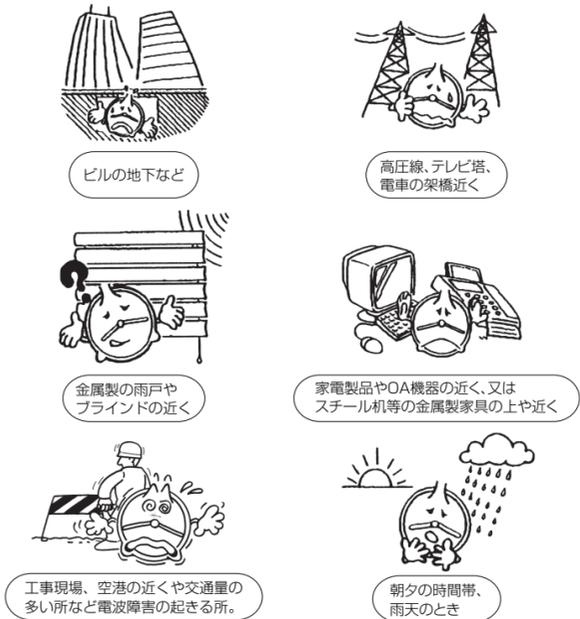
ビルの地下など

高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く

金属製の雨戸やブラインドの近く

家電製品やOA機器の近く、又はスチール机等の金属製家具の上や近く

工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所。

朝夕の時間帯、雨天のとき

ご使用場所の注意

下記のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- ●温度が+50℃(50度)以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- ●温度が−10℃(氷点下10度)以下になる所。プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。
- ●浴室など、湿気の多い所。
- ●ほこりが多く発生する所。空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まることがあります。
- ●テレビ·OA機器·オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- ●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- ●温泉場など、ガスの発生する所。
- ●多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- ●プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

ご使用上の注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

警告　この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意　この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

禁止　この表示は、してはいけない「禁止」内容です。

強制　この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告　小さな部品は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

分解禁止　分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

注意　時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

アルカリ電池について

警告

- ●電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ●ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

電池一般について

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。

注意

- ●+（プラス）、−（マイナス）を逆に入れないでください。
- ●指定された新しい電池を使用してください。
- ●古い電池と新しい電池、種類の異なる電池の混用をしないでください。
- ●使い切った電池は速やかに取り出してください。
- ●長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- ●電池交換時は、電池と時計の端子（接触部）の汚れを落としてから入れてください。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、2〜3年に一度の点検·調整（有料）をおすすめします。販売店にご相談ください。

- ●汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- ●時計を掛けたとき、静電気により、時計および壁面が汚れることがあります。定期的に掃除をしてください。

CITIZEN. 電波時計（メロディ報時付掛時計）取扱説明書

〜 製品の特長 〜

標準電波を受信して正しい時刻に修正

毎正時にメロディを奏でランプが点滅します

暗くなると自動的にメロディが鳴らなくなります

お買い上げありがとうございます。

○ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

○この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**

本社　〒330-9551　埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12

http://www.rhythm.co.jp

取扱説明書番号　M302-CXXZ

Y0706

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路、歯車等）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース·文字板等）の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃·諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。お問い合わせに際しては、製品番号「4MN401-B」をお伝えください。

お問い合わせ先

■お客様相談室　フリーダイヤル 0120-557-005

受付時間 9:00 〜 17:00

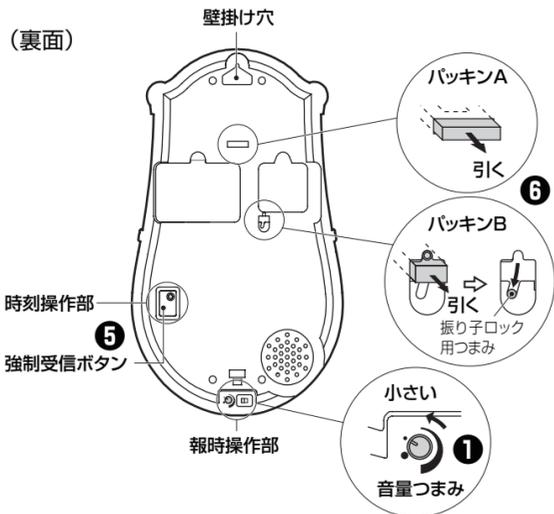
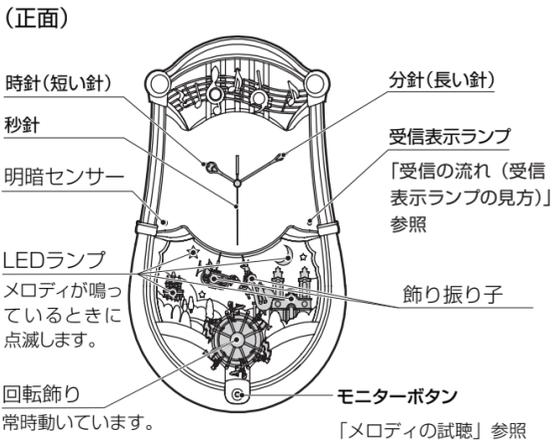
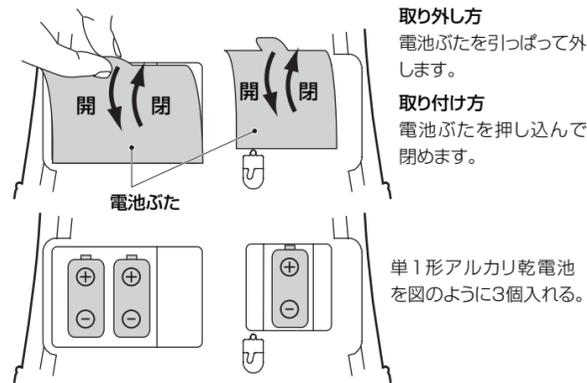
（土日、祝日および当社休日を除く）

1. 電池を入れて時刻を合わせる

●図は操作説明用ですので、実際の商品とは異なることがあります。

（正面）

（裏面）

【電池の入れ方】❷❸❹

時針・分針の動きについて
　○自動修正:早送りします。
　○通常:10秒単位で動きます。

秒針の動きについて
　○自動修正:早送りしたり、停止した後に1秒ステップになります。
　○通常:1秒ステップで動きます。

❶音量を最小にする

音量つまみを左に回して、音量を最小にします。音量を最小にしないと、急に大きな音が出る場合があります。

❷裏面の電池ぶたを取り外す

❸電池を入れる

電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単1形アルカリ乾電池を入れます。

注意
電池は正しく入れてください。逆に入れると発熱・破裂・液もれなどの原因になります。

※電池を交換するときは、すべて指定の新しい電池を入れてください。

❹電池ぶたを取り付ける

❺強制受信ボタンを押す

受信表示ランプが点灯し、電波の受信を開始します。受信には最長15分程度の時間がかかります。

※針は停止したままですが、故障ではありません。

※受信中は、ボタン類を操作しないでください。

❻裏面のパッキン(A/B)を取る

○パッキンは振り子を保護するものです。輸送する際は、パッキンを差し込んでください。

○パッキンBは、振り子ロック用つまみを上に上げた状態で差し込んでください。

❼時計を掛けて、受信が終了するまで待つ

「時計の掛け方」に従って、時計を確実に掛けてください。

❽受信結果を確認する

受信終了後、時針・分針・秒針が時刻を指します。
　別項「受信の流れ（受信表示ランプの見方）」参照。
　受信成功:受信表示ランプが2秒に1回点滅
　　　　　⇒そのまま時計を掛けてご使用ください。
　受信失敗:受信表示ランプが消灯
　　　　　⇒「2. 電波を受信できない場合」を参照。

※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。

■「3. 報時機能の使い方」に従って設定してください。

電池からの液もれに注意

時計が止まった状態で、電池を入れたままにすると、電池からの液もれにより、時計や壁面・家具などに損傷を与えます。時計が止まったら、電池を取り出すか、電池を新しいものに交換してください。

2. 電波を受信できない場合

●場所を変える

電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所（取扱説明書の日本地図を参考）に、なるべく時計の正面または裏面が向くような所を選び、強制受信ボタンを押してください。

設置場所を決める前に、裏面の「**ご使用場所について**」をお読みください。

●朝までそのままにしておく

一般的に夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。1〜2日後に受信結果を確認してください。

●時刻合わせをしてその場所で使用する

ベランダなど屋外で、電波の受信に成功させるか、手動で時刻合わせをしてからご使用ください。この場合、電波を受信できないため、時間精度はクオーツ精度になります。

※電波を受信しにくいところで使用すると、ノイズにより誤った時刻を表示するおそれがありますので、電波を受信しやすいところでお使いになることをお勧めいたします。

手動での時刻の合わせ方

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。手動で時刻合わせをするとクオーツ精度になります。

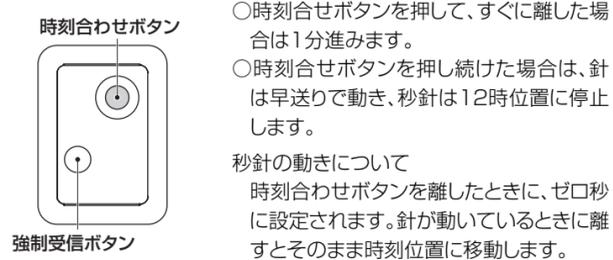
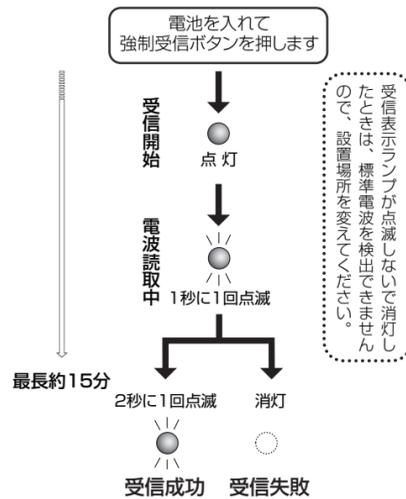
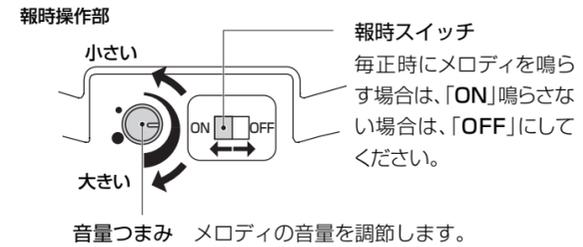
※時刻合わせボタンを操作していないのに、針が早送りしているときは、針が通常の動きになってから操作をしてください。

※手動で時刻合わせをしても、受信に成功すると自動的に時刻は修正されます。

時刻合わせボタンを押すと、時針・分針が動き始めます。

○時刻合せボタンを押して、すぐに離した場合は1分進みます。

○時刻合せボタンを押し続けた場合は、針は早送りで動き、秒針は12時位置に停止します。

秒針の動きについて
　時刻合わせボタンを離したときに、ゼロ秒に設定されます。針が動いているときに離すとそのまま時刻位置に移動します。

受信の流れ（受信表示ランプの見方）

3. 報時機能の使い方

報時スイッチの設定

ON　:**毎正時にメロディを1曲奏でます。**
　　　毎正時ごとにメロディが切り替わります。
　　　メロディとともにランプが点滅します。
OFF:**鳴りません。**

※6種類のメロディが収録されています。メロディの曲目は時計本体に表示してあります。

※暗くなると報時しません。「明暗センサーについて」をお読みください。

※時刻合わせボタンを操作して、正時にしても鳴りません。
　正時の1〜2分前にし、そのまま正時になるのを待つと鳴ります。
　その後は、強制受信ボタンを押して再受信させてください。

※電波を受信出来ないときは、手動で時刻を合わせてからご使用ください。

メロディの試聴

○モニターボタンを押すと、時刻に関係なくメロディを鳴らすことができます。

○メロディが鳴っているときに、再度モニターボタンを押すと、曲目が切り替わります。

○電波受信中は、受信しやすくするためモニターボタンを押さないでください。

メロディの音量調節

モニターボタンを押して、メロディが鳴っている間に、音量つまみを回して、音量を調節します。

明暗センサーについて

時計周囲の明るさを感知するセンサーが付いています。暗くなると受信表示ランプは消灯し、秒針は12時位置で停止します。また報時をしなくなります。このセンサーは、時計を設置した場所の明るさで働くため、昼間や夜間照明時でも設置場所の光量不足により、センサーが働くことがあります。

自動受信による時刻修正回数について

標準電波を受信する回数は、最少1日1回から最多1日12回まで受信状況により変化します。

	受信回数
● 受信成功から72時間以内の場合	最少　1回／日 最多　3回／日
● 連続72時間以上受信に失敗している場合 ● 初めから受信に失敗している場合 ● 手動で時刻合わせをした場合	12回／日

時計の掛け方

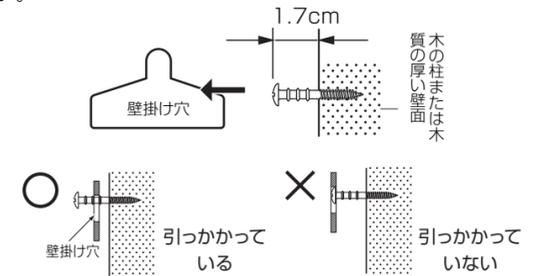
強制

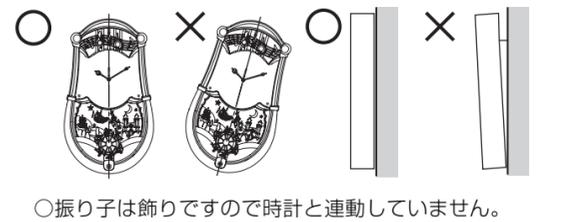
時計の掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。時計を掛ける面に適した壁掛け金具、ねじを選択してください。また、時計を掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。

注意

木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

●木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

●上記以外の場所(コンクリートなどの壁面)に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

●垂直に掛けないと振り子が止まることがあります。

○振り子は飾りですので時計と連動していません。

おもな製品仕様

時間精度	標準電波の受信に成功した場合の表示精度（受信直後） 　秒針　±1秒以内 　時針／分針　目盛りに対して±3度 標準電波を受信しない場合 　平均月差　±20秒　(常温でのクオーツ精度)
報時精度	表示時刻に対して±1秒
使用温度範囲	−10℃〜+50℃
使用電池	単1形アルカリ乾電池　（JIS規格LR20）　3個
電池寿命	約1年間　（音量最小で1日17回報時）
その他	標準電波 　自動受信、電波受信確認用ランプ（LED） 報時:毎正時にメロディを奏でる 　メロディ6曲、ON/OFFスイッチ、音量調節、メロディの試聴 　メロディとともにランプが点滅 明暗センサー:暗所で秒針、報時停止 飾り振り子・回転飾り

●付属の電池は、工場出荷時に入れていますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。

●電池寿命は、電波を正常に受信して明暗センサーにより、1日7時間、秒針が停止しているときのものです。

●製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。